

- 問1 江戸幕府が鎖国下の長崎において、中国（清）やオランダとの貿易を継続させた目的として、当時の宗教政策の観点から説明したものととして最も適切なものを選びなさい。（2018年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 鎖国によって海外との交流を完全に断絶し、日本の自給自足体制を完成させるため | 2. キリスト教の布教を徹底的に排除しつつ、海外の物資や情報を管理・入手するため | 3. キリスト教を日本独自の宗教と融合させ、新たな国教として普及させるため | 4. 中国やオランダを通じて、東南アジア諸国へキリスト教を輸出するため |
|--|--|---------------------------------------|-------------------------------------|
- 問2 江戸時代の農村において、名主や肝煎とも呼ばれ、村の行政や年貢のとりまとめを担った村役人の役職名として正しいものを、次のうちから選
- びなさい。（2016年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 代官 | 2. 庄屋 | 3. 奉行 | 4. 地主 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問3 江戸時代の三大改革のうち、田沼意次の政治のあとに松平定信が行った「寛政の改革」の背景とその目的として正しい説明はどれですか。（2017年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 大名に参勤交代の負担を軽減する代わりに米を献上させ、幕府の米蔵をいっぱいにしようとした。 | 2. 株仲間の結成を広く認めることで、商人の力を借りて物価の安定を図ろうとした。 | 3. 賄賂や冷害による社会の混乱を鎮めるため、質素倹約と朱子学を重んじて幕府の権威を再建しようとした。 | 4. 外国船の来航に備えるため、商業を活性化させて海防を強化し、幕府の財政を潤そうとした。 |
|---|--|---|---|
- 問4 17世紀前半、江戸幕府がキリスト教の禁止と貿易の統制を主な目的として、外国との交流を段階的に制限した一連の対外政策を何と呼びますか。（2018年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|-------|---------|----------|
| 1. 身分統制 | 2. 鎖国 | 3. 参勤交代 | 4. 武家諸法度 |
|---------|-------|---------|----------|
- 問5 江戸時代教育機関について述べた文として、当時の社会状況と照らし合わせて正しいものを選びなさい。なお、当時の資料には、武士が幕府直轄の昌平坂学問所で政治や道徳を学ぶ様子や、農民・町人の子供たちが民間の教育機関で学ぶ様子が記されています。（2021年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 昌平坂学問所は、読み・書き・そろばんなどの実用的な技能を農民に教えるために設立された。 | 2. 農民や町人の子供たちは寺子屋に通い、オランダから伝わった蘭学や天文学を中心に学んだ。 | 3. 武士は朱子学を学び、身分の上下関係や礼儀を重んじることで社会の秩序を保とうとした。 | 4. 江戸幕府は武士に対し、日本古来の精神を追求する国学を政治を支えるための正学として奨励した。 |
|--|---|--|--|
- 問6 江戸時代の日本と朝鮮の関係について、貿易や拠点のあり方を説明した文として正しいものはどれですか。（2016年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 長崎の出島に朝鮮の商人が来航し、オランダや清（中国）と同様に幕府が直接管理する貿易が行われた。 | 2. 朝鮮の釜山に倭館と呼ばれる施設が置かれ、対馬藩が窓口となって貿易が行われた。 | 3. 薩摩藩が朝鮮を服属させ、那覇に置かれた施設を通じて日本への朝貢貿易を強いた。 | 4. 対馬に朝鮮館と呼ばれる施設が置かれ、そこを拠点に朝鮮の商人と日本の商人が自由に取引を行った。 |
|--|---|---|---|
- 問7 江戸時代の政治改革において、徳川吉宗による「享保の改革」と、松平定信による「寛政の改革」の間に位置する時期に行われた政治について、その特徴として正しいものはどれですか。（2018年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 幕府の権威を回復するため、朱子学以外の学問を幕府の学問所で教えることを禁じる「寛政異学の禁」を定めた | 2. 商工業者が組織する「株仲間」を積極的に公認し、彼らから税を徴収することで幕府の財政を立て直そうとした。 | 3. 旗本や御家人などの武士を救済するため、借金を帳消しにする「棄捐令（きえんれい）」を発令した。 | 4. 質素倹約を徹底し、都市に流れ込んだ農民を村に帰す「旧里帰農令」を出すことで、農業の再興を目指した。 |
|---|--|---|--|
- 問8 17世紀初め、江戸幕府による朱印船貿易が盛になると、東南アジア各地に日本人が移住して「日本町」が形成されました。そのなかでも、インドシナ半島の内陸部に位置するシャム（現在のタイ）の王都に作られ、山田長政が町の長として活躍したことで知られる場所はどこですか。（2016年 山口県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------|---------|-----------|---------------|
| 1. ルソン島（マニラ） | 2. アユタヤ | 3. ミンダナオ島 | 4. ジャワ島（バタビア） |
|--------------|---------|-----------|---------------|
- 問9 18世紀前半、徳川吉宗が進めた「享保の改革」の背景とその内容についての説明として、正しいものはどれですか。（2019年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 生類憐みの令による混乱を收拾するため、武士に対して武芸よりも文治を重んじるよう求めた。 | 2. 飢饉による農村の荒廃を防ぐため、農民が土地を売買することを永久に禁止する法令を出した。 | 3. 幕府の深刻な財政難を立て直すため、新田開発の推進や上げ米の制を行い、実学を奨励した。 | 4. 外国船の来航に備えるため、鎖国体制をさらに強化し、日本人の海外渡航を完全に禁止した。 |
|--|--|---|---|
- 問10 イギリスで発達した蒸気機関の技術は、交通手段にも大きな革新をもたらした。この動力技術を応用して実用化され、原料や製品の大量輸送を可能にしたものはどれか。（2017年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------|------------------|--------------|-------------------|
| 1. 蒸気機関車による鉄道 | 2. 人力による荷車と運河の整備 | 3. 電気による地下鉄網 | 4. ガソリンエンジンによる自動車 |
|---------------|------------------|--------------|-------------------|
- 問11 江戸時代前期の1643年に江戸幕府が出した、農民が自らの土地を永久に売り買いすることを禁止した法令を何といいますか。（2026年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------|----------|-----------|-----------|
| 1. 田畑永代売買禁止令 | 2. 分地制限令 | 3. 慶安の御触書 | 4. 生類憐みの令 |
|--------------|----------|-----------|-----------|
- 問12 江戸幕府が大名による謀反（反乱）を防止するために、参勤交代とあわせて実施した「大名の家族」に関する措置として正しいものはどれですか。（2023年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1. 大名の長男を將軍の養子として、幕府の役職に就かせた | 2. 大名の妻を、1年ごとに京都の朝廷へ派遣させた | 3. 大名の妻や子を人質として、常に江戸に住ませた | 4. 大名の妻子が領地から出ることを厳格に禁止した |
|------------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
- 問13 江戸時代中期から後期にかけて、財政再建を目指した田沼意次と松平定信の経済政策の違いについて述べたものとして正しいものはどれですか。（2024年 京都府公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 田沼意次は新田開発を進めて農業重視の政策を徹底し、松平定信は株仲間をさらに拡大させることで都市の商人から多額の献金を引き出した。 | 2. 田沼意次は株仲間の奨励や長崎貿易の拡大により商業の力を利用して増収を図り、松平定信は寛政の改革で倹約を強制し農村の立て直しを重視した。 | 3. 田沼意次は農民に副業を勧めて現金の流通を抑えようとし、松平定信は積極的な貨幣発行によって物価の上昇を抑え、武士の生活を助けた。 | 4. 田沼意次は朱印船貿易を再開して海外の富を国内に引き入れようとし、松平定信は楽市・楽座を導入して全国の関所を撤廃した。 |
|---|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 キリスト教の布教を徹底的に排除しつつ、海外の物資や情報を管理・入手するため	幕府はキリスト教の布教を禁じる一方で、中国の産物である生糸や、西洋の学問・技術といった有用な物資や情報を必要としていました。そこで、布教を行わないことを条件に中国やオランダとの窓口を長崎に限定し、幕府の厳格な統制のもとで貿易を継続させました。これにより、禁教と実利の確保を両立させようとしてしました。
問2	答え 2 庄屋	江戸時代の村政は「村方三役」と呼ばれる有力な百姓たちによって運営されていました。その責任者であるこの役職は、地域によって呼び名が異なり、関東では名主、東北や北陸では肝煎、近畿や西国では庄屋と呼ばれました。主な職務は、領主の命令を村人に伝えることや、村全体の年貢の納入をとりまとめることでした。
問3	答え 3 賄賂や冷害による社会の混乱を鎮めるため、質素倹約と朱子学を重んじて幕府の権威を再建しようとした。	田沼時代に蔓延した賄賂政治や、天明の飢饉による社会不安を解消するため、松平定信は儒教的な道徳観（朱子学）に基づく政治を目指しました。農村に人を戻す「旧里帰農令」や、武士の借金を免除する「棄捐令」などを通じて、疲弊した農村と幕府財政の再建を図りました。
問4	答え 2 鎖国	幕府はキリスト教の広がりや封建的な支配体制を揺るがすことを恐れ、また貿易による利益を独占するために、外国との窓口を長崎などの特定の場所に限定しました。1641年にオランダ商館が長崎の出島に移されたことで、この体制が完成したとされています。
問5	答え 3 武士は朱子学を学び、身分の上下関係や礼儀を重んじることで社会の秩序を保とうとした。	江戸時代の教育は身分によって役割が分かれていました。幕府が武士に朱子学を推奨したのは、その道徳観が封建的な身分秩序を正当化し、長期的な政権の安定に寄与したからです。一方で、一般の庶民は寺子屋で「読み・書き・そろばん」といった日常生活や実務に直結する知識を習得していました。
問6	答え 2 朝鮮の釜山に倭館と呼ばれる施設が置かれ、対馬藩が窓口となって貿易が行われた。	江戸幕府は「四つの口」と呼ばれる窓口を通じて限定的な外交・貿易を行いました。対朝鮮外交においては対馬藩がその役割を担い、朝鮮側の拠点である釜山には「倭館」という日本人の居住地を兼ねた貿易拠点が設置されました。出島はオランダや清との貿易拠点であり、薩摩藩が関与したのは琉球王国、松前藩が関与したのはアイヌとの交易であるため、これらと区別して理解する必要があります。
問7	答え 2 商工業者が組織する「株仲間」を積極的に公認し、彼らから税を徴収することで幕府の財政を立て直そうとした。	田沼意次の政治は、それまでの農業中心の財政再建策から転換し、商業の発展を利用しようとしたのが特徴です。具体的には、商人の組合である株仲間の結成を奨励し、営業税である運上（うんじょう）や冥加（みょうが）を納めさせることで、金銭による収入を増やそうとしました。選択肢にある旧里帰農令や棄捐令、寛政異学の禁は、田沼の後の時代である松平定信の「寛政の改革」の内容です。
問8	答え 2 アユタヤ	江戸時代初期、徳川家康が朱印状を発行して海外渡航を許可したことで、東南アジアの主要な港や王都付近には日本人の居住地である日本町が作られました。シャムのアユタヤにあった日本町は、最盛期には数千人が居住する最大規模のものでした。山田長政はアユタヤ王朝の傭兵隊長として活躍し、高官に登用されるなど、現地の政治にも深く関わりました。
問9	答え 3 幕府の深刻な財政難を立て直すため、新田開発の推進や上げ米の制を行い、実学を奨励した。	吉宗が就任した当時の幕府は、支出の増大により深刻な財政赤字に陥っていました。吉宗は「享保の改革」を断行し、節約を徹底するだけでなく、新田開発による年貢収入の増加や、大名に米を献上させる「上げ米の制」を実施しました。また、農業技術や暦の改良に役立てるために実学を重んじたことが、後の蘭学の発達にもつながりました。
問10	答え 1 蒸気機関車による鉄道	産業革命で生まれた蒸気機関の技術は、交通機関にも応用されました。スティーブンソンらによって蒸気機関車が実用化されると、鉄道網が急速に整備され、重い石炭や鉄鋼、製品を遠方まで大量に運ぶことが可能になり、経済のさらなる発展を支えました。
問11	答え 1 田畑永代売買禁止令	江戸幕府は農民が農地を売って没落するのを防ぎ、安定した年貢収入を確保するために土地の売買を禁止・制限しました。
問12	答え 3 大名の妻や子を人質として、常に江戸に住ませた	幕府は大名の忠誠を誓わせるため、大名の正妻と世継ぎを「人質」として江戸の屋敷に住ませました。これにより、地方の大名が幕府に対して勝手な行動をとれないように監視を強め、幕藩体制の安定を図りました。
問13	答え 2 田沼意次は株仲間の奨励や長崎貿易の拡大により商業の力を利用して増収を図り、松平定信は寛政の改革で倹約を強制し農村の立て直しを重視した。	老中・田沼意次は、商人の団体である「株仲間」を積極的に公認して運上金や冥加金を徴収し、商業資本を利用した財政再建を試みました。しかし、賄賂の横行などの弊害も生じたため、次に実権を握った松平定信は、寛政の改革において農本主義的な理想に基づき、厳しい倹約令や農村復興策（旧里帰農令など）を打ち出しました。このように、商業重視から農本主義・倹約重視への転換が行われた点が重要です。

問1 江戸時代の三大改革の一つである寛政の改革について、その背景や内容を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2020年 山形県公立入試 類似)

1. 長崎での貿易を制限し、金銀の流出を防ぐために海舶互市新例を発令した。
2. 江戸に流入した農民を強制的に農村へ帰す人別改法を制定し、人口の回復を図った。
3. 田沼意次の時代に乱れた政治を正すため、質素倹約を奨励し、武士の規律を厳しくした。
4. 商品経済の発展に対応するため、株仲間を積極的に公認して連上金を徴収した。

問2 1600年にウィリアム・アダムスが日本に漂着し、のちに徳川家康の外交顧問となった時期から、江戸幕府は対外政策を徐々に強化しました。この過程で、長崎を直轄地として管理し、貿易の統制やキリスト教の布教防止、さらには日本人の海外への渡航禁止などを実施した幕府の役職を選びなさい。 (2021年 東京都公立入試 類似)

1. 長崎奉行
2. 松前奉行
3. 江戸町奉行
4. 京都所司代

問3 世界の航路発見と日本国内の海運の発展について、歴史的な時系列や内容が正しい記述はどれですか。 (2023年 茨城県公立入試 類似)

1. 1988年にヴァスコ・ダ・ガマの航路発見から500周年を記念して、江戸と大阪を結ぶ海上交通の安全を祈願した本州四国連絡橋が全線開通した。
2. 15世紀末にヴァスコ・ダ・ガマがアフリカ南端の喜望峰を経由してインドへ到達したことは、その後のアジアとヨーロッパの直接貿易の契機となった。
3. モンゴル帝国が整備した駅伝制に対抗するため、江戸時代の日本では13世紀のうちに瀬戸内海を横断する本州四国連絡橋の建設が始まった。
4. 江戸時代、幕府の命を受けたヴァスコ・ダ・ガマが日本周辺を調査し、東北地方の産物を江戸や大阪へ運ぶ東まわり・西まわり航路を整備した。

問4 天明のききんが発生した際、農村の荒廃や食糧不足による米価の急騰は、当時の社会にどのような影響を与えましたか。その状況として最も適切な説明を選びなさい。 (2019年 静岡県公立入試 類似)

1. 幕府が株仲間を積極的に奨励したことで、商人の独占が進み物価が安定した
2. 諸藩が特産物の専売制を廃止したため、農村から都市への人口流出が止まった
3. 各地で年貢の減免を求める百姓一揆や、都市部で米屋などを襲う打ちこわしが頻発した
4. 新田開発が全国で成功し、ききんの影響を受けることなく幕府の財政が再建された

問5 江戸時代の風景画である『富嶽三十六景』について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)

1. 墨の濃淡のみを用いる水墨画の手法で、自然の厳しさを宗教的に描いた。
2. 「ベロ藍」と呼ばれる輸入された顔料を使い、海や空を鮮やかに表現した。
3. 歌舞伎役者の表情を誇張して描き、芝居小屋の宣伝のために配布された。
4. 幕府の御用絵師が、大名や公家のために城の障壁画として制作した。

問6 19世紀前半の山口県下関での取引記録を見ると、九州の砂糖、瀬戸内海の塩、山陰の鉄類、上方（大坂周辺）の綿布に加え、北国の海産物や酒などが集まっていたことがわかります。このように、下関などの寄港地が商業の拠点として繁栄した背景にある出来事として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)

1. 幕府が東廻り航路を整備し、東北の年貢米を江戸へ直接運ぶ仕組みを優先したこと
2. 河村瑞賢が西廻り航路を整備し、日本海側と大坂を結ぶ物流網が確立されたこと
3. 朱印船貿易が盛んになり、東南アジア諸国との間で特産品の交換が行われたこと
4. ペリーの来航をきっかけに下関が長崎に代わる国際貿易港として開港されたこと

問7 1792年にロシアの使節であるラクスマンが北海道の根室に来航した際、彼が日本に送り届けた漂流民の名前と、来航の目的の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2020年 新潟県公立入試 類似)

1. 漂流民は大黒屋光太夫であり、目的は日本との通商（貿易）を求めることだった。
2. 漂流民はラナウド・マクドナルドであり、目的は鎖国の撤廃を要求することだった。
3. 漂流民は津太夫であり、目的はキリスト教の布教を許可させることだった。
4. 漂流民はジョン万次郎であり、目的は捕鯨船の薪水補給を求めることだった。

問8 1842年に江戸幕府が薪水給与令を発令し、対外政策を緩和させた背景と内容について説明した文として、最も適切なものはどれですか。当時のアジア情勢に関する資料の記述を参考にして答えなさい。 (2024年 三重県公立入試 類似)

1. ペリーの来航によって開国を迫られた幕府が、不平等条約を締結する前に、暫定的に外国船の寄港と物資補給を認めた。
2. アヘン戦争での清の敗北を知った幕府が、武力衝突を避けるために、外国船に燃料や水を与えて穏やかに退去させる方針をとった。
3. ラクスマンが根室に来航し通商を求めたため、北方警備を強化する一方で、燃料や水に限り提供して長崎へ回航させた。
4. 清での大規模な反乱である太平天国の乱の影響を恐れ、鎖国体制を維持するために、外国船への一切の補給を停止した。

問9 江戸幕府は「鎖国」と呼ばれる体制下においても、特定の四つの窓口（四つの口）を通じて、対外関係を維持していました。これらの窓口のうち、対馬藩が朝鮮王朝との外交・貿易を、松前藩がアイヌ民族との交易を、薩摩藩が琉球王国を通じた貿易をそれぞれ担っていました。では、これら三つの藩による窓口のほかに、幕府が直轄地としてオランダや清（中国）との貿易を管理した場所として、正しい地名はどれですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)

1. 博多
2. 堺
3. 長崎
4. 横浜

問10 江戸時代の琉球王国に関する歴史的な状況を説明した記述として、誤っているものを選択してください。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)

1. 1609年の侵攻以降、琉球王国の国王が代わる際には「謝恩使」が、幕府の将軍が代わる際には「慶賀使」が江戸へ派遣された。
2. 薩摩藩の監視下で続けられた中国との貿易は、幕府にとっても中国の情報を得るための重要な窓口となっていた。
3. 1609年の薩摩藩の侵攻をきっかけに、琉球王国は首里城を中心とした統一国家としての機能を失い、薩摩藩の役人が直接統治を行う県となった。
4. 薩摩藩は、琉球が中国との朝貢貿易を有利に進められるよう、中国側の使節が来る際には日本風の文化を隠すよう命じた。

問11 17世紀末から18世紀初めにかけて、京都や大阪などの上方を中心に、経済力を蓄えた町人の生活や感情を反映して栄えた文化を何といいますか。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)

1. 元禄文化
2. 東山文化
3. 化政文化
4. 桃山文化

問12 江戸時代、歌川広重の浮世絵や十返舎一九の『東海道中膝栗毛』といった、江戸を中心に発展した文化が地方へも広く普及しました。このような文化の広まりを支えた当時の社会状況の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 群馬県公立入試 類似)

1. 五街道などの交通網が整備されたことで人々の往来が盛んになり、旅人や物資とともに江戸の文化が伝わった。
2. 鎖国体制が強化されたことで外国の文化が遮断され、代わりに地方独自の文化が江戸へ集中的に流入した。
3. 参勤交代の負担を減らすために幕府が交通路の通行料を無料にし、庶民が自由に江戸へ住めるようにした。
4. 幕府が江戸の文化を全国に普及させるために、各地の藩校に対して浮世絵や文学作品を教材として配布した。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 田沼意次の時代に乱れた政治を正すため、質素倹約を奨励し、武士の規律を厳しくした。	寛政の改革は、賄賂政治が横行したとされる田沼意次の政治を批判し、徳川吉宗の享保の改革をモデルに行われました。質素倹約や軍事力の強化が強調されましたが、非常に厳しい統制であったため、民衆からは不満も出されました。他の選択肢は、新井白石の政治や田沼意次の政治、天保の改革の内容を指します。
問2	答え 1 長崎奉行	徳川家康は当初、ウィリアム・アダムス（三浦按針）らを重用して海外貿易を推奨していましたが、次第にキリスト教の浸透が幕府の支配体制を揺るがすことを恐れるようになりました。そこで、幕府の直轄地である長崎に「長崎奉行」を置き、貿易の利益を独占するとともに、日本人の海外渡航や帰国を厳禁する「鎖国」体制を整えていきました。
問3	答え 2 15世紀末にヴァスコ・ダ・ガマがアフリカ南端の喜望峰を経由してインドへ到達したことは、その後のアジアとヨーロッパの直接貿易の契機となった。	ヴァスコ・ダ・ガマによるインド航路の発見（1498年）は、それまでのイスラム商人を介した取引ではなく、ヨーロッパ人が直接アジアへ進出する大航海時代の象徴的な出来事です。江戸時代の国内航路の整備は17世紀（河村瑞賢によるもの）、本州四国連絡橋の開通は20世紀後半（1988年など）であり、時代背景を正確に区別する必要があります。
問4	答え 3 各地で年貢の減免を求める百姓一揆や、都市部で米屋などを襲う打ちこわしが頻発した	大規模な食糧不足は、農民による抵抗運動である「百姓一揆」や、生活に困窮した都市の民衆が米屋などを破壊する「打ちこわし」を激増させました。こうした社会不安の増大により、幕府は政治の立て直しを迫られ、のちの寛政の改革へとつながっていくことになります。
問5	答え 2 「ベロ藍」と呼ばれる輸入された顔料を使い、海や空を鮮やかに表現した。	葛飾北斎の『富嶽三十六景』は、当時普及し始めた安価な化学顔料である「ベロ藍」を効果的に使用している点が特徴です。江戸時代後半には交通網が整備され、庶民の間で旅や名所への関心が高まったため、このような風景画が木版画として大量生産され、広く流通しました。水墨画は室町時代の雪舟などの特徴であり、障壁画は狩野派、役者の誇張表現は東洲斎写楽などの特徴です。
問6	答え 2 河村瑞賢が西廻り航路を整備し、日本海側と大坂を結ぶ物流網が確立されたこと	17世紀後半に西廻り航路が整備されたことで、北国から大坂への物資輸送が活発になりました。この航路では「北前船」が寄港地で商品を売り買いしながら航行したため、中継地点である下関などは各地の特産品が集まる交易の拠点として大きく発展しました。
問7	答え 1 漂流民は大黒屋光太夫であり、目的は日本との通商（貿易）を求めることだった。	ロシア女帝エカチェリーナ2世の命を受けたラクスマンは、伊勢の船頭であった大黒屋光太夫ら漂流民を送り届けるという名目で根室に来航しました。真の目的は、当時鎖国を行っていた日本に対して通商を求めることにありました。大黒屋光太夫はロシアで約10年を過ごし、女帝に直接謁見して帰国を直訴した人物として知られています。
問8	答え 2 アヘン戦争での清の敗北を知った幕府が、武力衝突を避けるために、外国船に燃料や水を与えて穏やかに退去させる方針をとった。	幕府はオランダ風説書などを通じて、大国であった清がイギリスとのアヘン戦争に敗れたことを知りました。強力な軍事力を持つ外国を無差別に刺激し続けることは、日本に戦火を招く恐れがあると判断した老中の水野忠邦は、現実的な対応として異国船打払令を事実上廃止し、燃料や食料の提供によって平和的に退去を促す方針へと転換しました。
問9	答え 3 長崎	江戸幕府は外交や貿易を完全に禁止したわけではなく、長崎、対馬、松前、薩摩（琉球口）の四箇所を公式な窓口として統制していました。長崎は幕府の直轄地として、オランダや清との貿易が行われ、出島などの施設が整備されました。選択肢にある博多や堺は中世に貿易港として栄えましたが、江戸時代の「四つの口」には含まれません。
問10	答え 3 1609年の薩摩藩の侵攻をきっかけに、琉球王国は首里城を中心とした統一国家としての機能を失い、薩摩藩の役人が直接統治を行う県となった。	1609年の侵攻後も、琉球王国は王制を維持しており、薩摩藩による間接的な支配が行われていました。琉球が日本の一つの県（沖縄県）として直接統治されるようになるのは、明治時代の「琉球処分」以降のことです。また、薩摩藩は中国との貿易を円滑にするため、琉球に対してあえて中国風の儀礼や文化を維持することを求め、中国側に対しては日本の支配下にあることを隠そうとしていました。
問11	答え 1 元禄文化	江戸時代中期のこの文化は、幕府の政治が安定し、上方（近畿地方）の町人が経済的な実力をつけたことを背景に発展しました。19世紀に江戸を中心に広まった化政文化や、戦国時代末期の桃山文化とは、時期や中心地が異なります。
問12	答え 1 五街道などの交通網が整備されたことで人々の往来が盛んになり、旅人や物資とともに江戸の文化が伝わった。	江戸時代には、幕府によって五街道などの主要な交通路が整備されました。当初は参勤交代や公用のための整備でしたが、平和な世が続くにつれて庶民による社寺参詣や物見遊山の旅が盛んになりました。この人々の往来が活発化したことが媒介となり、江戸で流行した浮世絵や滑稽本といった文化が、宿場町などを通じて地方へと広まっていく要因となりました。

- 問1 享保の改革で設置された目安箱には、政治への不満だけでなく社会問題への解決策も投じられました。ある医師の投書がきっかけとなり、江戸の貧しい病人を救済するために設立された施設として正しいものはどれですか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
1. 昌平坂学問所 2. 小石川養生所 3. 閑谷学校 4. 適塾
- 問2 朱印船貿易が行われた結果、現在のタイやフィリピンなど、東南アジア各地の主要な港町に形成された日本人の居住地を何といいますか。 (2020年 北海道公立入試 類似)
1. 堺の自治都市 2. 日本町 3. 鹿苑寺金閣 4. 出島
- 問3 1783年に発生した浅間山の噴火によって空が暗くなり灰が降り注ぐといった大規模な被害が記録されたように、18世紀後半の日本は深刻な自然災害や飢饉に見舞われました。こうした社会不安を受けて松平定信が主導した「寛政の改革」の内容として、最も適切なものはどれか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
1. 裁判や刑罰の基準を明確にするため、公事方御定書を制定した 2. 生活に困窮した旗本や御家人の借金を帳消しにする稟捐令を発令した 3. 物価の上昇を抑えることを目的として、株仲間の解散を命じた 4. 幕府の財政を立て直すため、長崎貿易を制限して銅の輸出を管理した
- 問4 江戸時代中期の元禄文化を代表する人物の中で、武士や町人の現実的な生活をありのままに描いた「浮世草子」と呼ばれる新しい小説の形式を確立した人物は誰ですか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
1. 井原西鶴 2. 運慶 3. 喜多川歌麿 4. 狩野永徳
- 問5 江戸時代の都市の性格について述べた次の文の空欄にあてはまる用語の組み合わせとして、最も適切なものを一つ選びなさい。「江戸時代の大阪は、全国から年貢米や特産物が集まる（①）として発展し、（②）と呼ばれた。」 (2022年 島根県公立入試 類似)
1. ①：商業の中心地 ②：天下の台所 2. ①：政治の中心地 ②：将軍の膝元 3. ①：文化の中心地 ②：雅の都 4. ①：外交の中心地 ②：遠国奉行
- 問6 元禄文化の背景や特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 山形県公立入試 類似)
1. 開国によって流入した西洋の思想や技術が、武士の教養と融合して生まれた文化である 2. 朝廷や公家の影響を強く受け、伝統的な貴族文化を再興しようとした文化である 3. 貨幣経済の発展により実力をつけた町人が、自らの生活や感情を反映させた文化である 4. 戦乱の世の不安を反映し、素朴で力強く、禅宗の影響を強く受けた文化である
- 問7 徳川家光が大名に対し、1年ごとに江戸と領地を往復させ、さらに妻子を江戸に住まわせる「参勤交代」を制度化した主な理由として、当時の政治状況を踏まえた説明として正しいものはどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
1. 地方の特産物を江戸に集めさせ、幕府が全国の商業を一括して管理・統制するため。 2. 大名に軍役の代わりに多額の旅費や滞在費を負担させ、幕府に反乱を起こす経済的な余裕を奪うため。 3. 大名の領地における農民支配の状況を、将軍が江戸で直接監視できるようにするため。 4. 江戸の人口を増やして都市開発を進め、武士を中心とした新しい文化を全国に広めるため。
- 問8 19世紀の中ごろ、江戸幕府の老中が実施した「天保の改革」において、物価の高騰を抑えるために行われた政策として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
1. 商人の組織である株仲間を積極的に奨励し、営業の独占権を認める代わりに税を徴収した。 2. 裁判の基準となる「公事方御定書」を制定し、公正な裁判を行うことで社会を安定させた。 3. 聖堂学問所において朱子学以外の講義を禁止する「寛政異学の禁」を行い、思想を統制した。 4. 商人の組織である株仲間に解散を命じ、商品の自由な流通を図った。
- 問9 江戸幕府は、ポルトガルなどの国々を排除していく一方で、ヨーロッパ諸国の中ではオランダに対してのみ、長崎での貿易を継続することを認めました。オランダが他のヨーロッパ諸国と異なり、幕府から貿易を許可された最大の理由として正しいものを選びなさい。 (2018年 福島県公立入試 類似)
1. 島原・天草一揆の際に、幕府軍の側に立って反乱軍を攻撃するなどの協力をしたから 2. 生糸の輸出を独占しており、日本国内の衣類生産に不可欠な存在だったから 3. 徳川家康の外交顧問として、オランダ人が江戸城に常駐して政治を支えていたから 4. キリスト教の布教を目的とせず、貿易のみを行うことを幕府に約束したから
- 問10 江戸時代後半から幕末にかけて見られた「工場制手工業」が、それ以前の「問屋制家内工業」と比較して、生産効率を向上させた主な要因として正しいものはどれですか。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
1. 労働者を一箇所に集め、各工程を専門に行う分業体制を整えたこと。 2. 外国から輸入された最新の大型機械を各家庭に配備したこと。 3. 商人が農民に原料と道具を貸し出し、農閑期を利用して生産させたこと。 4. 職人が一人で全工程を担当し、熟練した技術を製品に反映させたこと。
- 問11 江戸時代後半の町人文化（化政文化）において、大胆な構図や鮮やかな色彩を用いた風景画で人気を博し、「富嶽三十六景」などの代表作を残した浮世絵師は誰ですか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
1. 喜多川歌麿 2. 歌川広重 3. 葛飾北斎 4. 菱川師宣
- 問12 1825年に江戸幕府が「異国船打払令」を出し、日本に近づく外国船を無差別に砲撃する強硬な姿勢をとると、知識人の中からこの政策が日本の安全を脅かすとして批判の声が上がりました。この批判を行った渡辺崋山や高野長英らが、幕府によって弾圧・処罰された事件を何といいますか。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
1. 紫衣事件 2. 蛭社の獄 3. 安政の大獄 4. 慶安の変
- 問13 江戸時代初期の1637年、島原・天草地方で発生した大規模な一揆についての説明として、当時の社会状況や発生の原因を背景とした記述として最も適切なものを選択してください。 (2020年 香川県公立入試 類似)
1. 鎖国によって貿易の利益が失われたことを不服とした商人と農民が、長崎奉行所の解体を求めた。 2. 江戸幕府が発令した外国船打払令に反発したキリシタンたちが、通商の自由を求めて武装蜂起した。 3. キリシタン大名が領地を没収されたことに反対し、関ヶ原の戦いの残党とともに幕府の転覆を狙った。 4. 領主による過酷な年貢の取り立てに加え、キリスト教に対する激しい弾圧が行われたことが原因で発生した。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 小石川養生所	目安箱に寄せられた医師・小川笙船の提案を受け、徳川吉宗は小石川養生所を設立しました。これは、貧困により医療を受けられない人々を救済するための公立の医療施設であり、目安箱が実際に庶民の声を政治に反映させる役割を果たしていた具体例の一つです。
問2	答え 2 日本町	幕府から渡航許可を得た朱印船によって多くの日本人が東南アジアへ渡り、アユタヤ（タイ）などの主要な都市に大規模な日本人の集落が作られました。しかし、のちに江戸幕府がキリスト教の禁止を徹底するために日本人の海外渡航や帰国を厳しく制限したことで、これらの集落は次第に衰退していきました。
問3	答え 2 生活に困窮した旗本や御家人の借金を帳消しにする棄捐令を発令した	松平定信は、天明の飢饉や浅間山の噴火による混乱を鎮めるため、質素倹約を重んじる改革を行いました。その一環として、生活が苦しくなった旗本や御家人を救済するために棄捐令を出し、札差からの借金を帳消しにしました。公事方御定書は徳川吉宗（享保の改革）、株仲間の解散は水野忠邦（天保の改革）による政策です。
問4	答え 1 井原西鶴	元禄文化は、上方（京都・大阪）の町人を中心に発展した、明るく活気のある文化です。井原西鶴は『日本永代蔵』や『世間胸算用』などの作品を通じ、それまでの宗教的な物語や伝説とは異なり、当時の人々の経済活動や人間模様をリアルに描き出しました。喜多川歌麿は江戸時代後期の浮世絵師、運慶は鎌倉時代の彫刻家、狩野永徳は桃山時代の絵師であり、活躍した時代や分野が異なります。
問5	答え 1 ①：商業の中心地 ②：天下の台所	江戸時代の三都（江戸・大阪・京都）は、それぞれ異なる役割を持っていました。政治の中心地である江戸が「將軍の膝元」、伝統的な文化が息づく京都が「雅の都」と呼ばれたのに対し、大阪は瀬戸内海などの水上交通を背景に、全国の物資が集まる経済・物流の拠点であったため「天下の台所」と呼ばれました。
問6	答え 3 貨幣経済の発展により実力をつけた町人が、自らの生活や感情を反映させた文化である	江戸時代中期は、農業生産の向上や商業の活発化により、上方（大阪・京都）の町人が大きな経済力を持つようになりました。この経済力を背景に、近松門左衛門の人形浄瑠璃や松尾芭蕉の俳諧など、町人の視点に立った人間味豊かな文化が花開きました。
問7	答え 2 大名に軍役の代わりに多額の旅費や滞在費を負担させ、幕府に反乱を起こす経済的な余裕を奪うため。	参勤交代は軍役（軍事奉仕）の一環として位置づけられていましたが、実質的には大名の財政を圧迫させることが大きな目的でした。長い行列を組んで移動する費用や、江戸での豪華な生活維持に大名の収入の多くを費やさせることで、軍備を整えたり謀反を企てたりすることを困難にしました。
問8	答え 4 商人の組織である株仲間に解散を命じ、商品の自由な流通を図った。	老中の水野忠邦は、物価が上昇している原因は、株仲間の商人が商品を独占しているにあると考えました。そのため、株仲間を解散させることで商品の流通を円滑にし、物価を下げようと試みましたが、かえって流通が混乱する結果となりました。株仲間の奨励は田沼意次の政治、公事方御定書は徳川吉宗の享保の改革、寛政異学の禁は松平定信の寛政の改革によるものです。
問9	答え 4 キリスト教の布教を目的とせず、貿易のみを行うことを幕府に約束したから	江戸幕府は、キリスト教の教えが幕府の封建的な支配体制を揺るがすことを恐れ、布教活動を厳しく禁じました。ポルトガルやスペインなどのカトリック諸国は、貿易と布教を一体として進めていたため排除されましたが、プロテスタント諸国であるオランダは、布教を行わずに商業的な利益のみを追求する姿勢を示したため、長崎の出島での貿易継続が認められました。
問10	答え 1 労働者を一箇所に集め、各工程を専門に行う分業体制を整えたこと。	問屋制家内工業が個々の家々で作業を行うのに対し、工場制手工業は労働者を工場（作業場）に組織的に配置しました。これにより、一人ひとりが特定の作業に専念する「分業」が可能となり、手作業でありながら大量かつ迅速な生産が実現しました。
問11	答え 3 葛飾北斎	江戸時代後半、特に19世紀初め頃の化政文化期には、庶民の旅行ブームを背景に名所を題材とした風景画が発展しました。この時期に活躍した人物が葛飾北斎であり、富士山を主題とした「富嶽三十六景」のほか、「北斎漫画」などの多才な画業で知られています。歌川広重は「東海道五十三次」で知られる同時期の絵師、喜多川歌麿は美人画、菱川師宣は江戸時代初期に浮世絵の基礎を築いた人物です。
問12	答え 2 蛭社の獄	イギリスの商船モリソン号が来航した際、幕府が異国船打払令に基づき砲撃したことを知り、渡辺華山（『慎機論』）や高野長英（『戊戌夢物語』）は、海外の情勢を無視した無謀な政策であると批判しました。幕府は保守的な姿勢を維持するため、こうした開明的な意見を持つ蘭学者グループを弾圧し、言論を統制しようとしたためです。
問13	答え 4 領主による過酷な年貢の取り立てに加え、キリスト教に対する激しい弾圧が行われたことが原因で発生した。	この一揆は、島原藩や天草諸島を治めていた領主たちが、飢饉の中でも無理な年貢の取り立てを強行し、さらにキリシタンへの拷問や改宗の強要を厳しくしたことが重なって爆発しました。天草四郎（益田時貞）を総大将として原城跡に立てこもったこの出来事は、幕府に大きな衝撃を与え、のちのポルトガル船の来航禁止や鎖国体制の完成を早める要因となりました。

- 問1 日本の歴史における都市や交通の発展について述べた以下の4つの事象を、時期の古いものから順に正しく並べた組み合わせを選びなさい。
- ・江戸を中心とした五街道が整備され、宿場が発達した。 ・織田信長が関所を廃止するなど、交通と商業の活性化を図った。
 - ・平城京において、道幅約70メートルの南北の道や碁盤の目状の区画が整備された。
 - ・源頼朝が鎌倉に幕府を開き、武家政権による支配が始まった。 (2022年 山口県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 「鎌倉幕府の成立」→「平城京の整備」→「五街道の整備」→「織田信長の政策」 | 2. 「平城京の整備」→「織田信長の政策」→「鎌倉幕府の成立」→「五街道の整備」 | 3. 「平城京の整備」→「鎌倉幕府の成立」→「織田信長の政策」→「五街道の整備」 | 4. 「五街道の整備」→「織田信長の政策」→「鎌倉幕府の成立」→「平城京の整備」 |
|--|--|--|--|

- 問2 江戸時代、幕府や諸藩は財政を安定させるために年貢の増収を目的とした政策を積極的に行いました。16世紀末から18世紀にかけて日本の耕地面積が約2倍にまで拡大した背景にある、この土地開発政策を何と呼びますか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|------------|---------|---------|
| 1. 新田開発 | 2. 墾田永年私財法 | 3. 地租改正 | 4. 太閤検地 |
|---------|------------|---------|---------|

- 問3 江戸時代中期の老中、田沼意次が行った経済政策の説明として、最も適切なものを選択してください。 (2021年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 貨幣の質を大幅に落として流通量を増やすことで、物価を抑制しつつ幕府の改鋳利益を増やす政策を推進した。 | 2. 極端な倭約令を出して武士や民衆の生活を厳しく制限し、支出を抑えることで幕府の財政を立て直そうとした。 | 3. 商工業者が結成した「株仲間」を積極的に公認し、営業の独占権を与える代わりに運上金や買加金といった税を徴収した。 | 4. 「公事方御定書」を制定して裁判の基準を明確に定め、役人の不正を厳しく取り締まることで政治の腐敗を防ごうとした。 |
|---|---|--|--|

- 問4 17世紀初頭のオランダにおいて、アジア諸国との貿易を組織的かつ大規模に行うために設立された組織の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. キリスト教の布教を最大の目的とし、アジア各地に宣教師を派遣するための拠点となった。 | 2. 世界初の株式会社の仕組みを取り入れ、多くの出資者から資金を集めて運営された。 | 3. 国王がすべての資金を出し、貿易による利益をすべて王室の私財とする直轄組織であった。 | 4. 産業革命による工業製品の輸出を促進するため、アフリカ大陸の植民地化を主導した。 |
|--|---|--|--|

- 問5 江戸時代の町人文化（化政文化）が栄えた時期に活躍した浮世絵師について述べた文です。富士山を各地から様々な角度で描いた「富嶽三十六景」などの風景画を確立し、後のヨーロッパの芸術家にも影響を与えた人物として正しいものはどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|-------|---------|
| 1. 狩野永徳 | 2. 葛飾北斎 | 3. 雪舟 | 4. 菱川師宣 |
|---------|---------|-------|---------|

- 問6 江戸時代初期、幕府から海外渡航の許可状を得た朱印船による貿易が行われていました。当時の帆船は自然の力を動力としていたため、夏と冬で吹く方向が入れ替わる風を利用して日本と東南アジアの間を往復していましたが、この風の名称を漢字三文字で答えなさい。 (2020年 京都府公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 貿易風 | 2. 偏東風 | 3. 偏西風 | 4. 季節風 |
|--------|--------|--------|--------|

- 問7 江戸時代中期の政治において、田沼意次が従来の農業重視の政策から転換し、幕府の財政を立て直すために積極的に奨励した仕組みとして最も適切なものを選択してください。 (2022年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------------|--|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 旗本や御家人の借金を帳消しにすることで、武士の生活を救済する仕組み | 2. 生類憐みの令を發布し、生命の尊さを強調することで社会の秩序を守る仕組み | 3. 株仲間を公認し、その営業の独占を認める代わりに税を徴収する仕組み | 4. 農村から都市へ出た人々を強制的に村に帰し、農業専念を命じる仕組み |
|--------------------------------------|--|-------------------------------------|-------------------------------------|

- 問8 江戸時代中期の元禄文化期において、京都や大阪などの上方を中心に、町人の生活や感情をいきいきと描いた作品が多く生み出されました。この時期に人形浄瑠璃や歌舞伎の脚本を執筆し、義理や人情に揺れ動く町人の姿を表現した人物は誰ですか。 (2015年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|--------|---------|-------|
| 1. 近松門左衛門 | 2. 世阿弥 | 3. 葛飾北斎 | 4. 雪舟 |
|-----------|--------|---------|-------|

- 問9 江戸時代後半から幕末にかけて見られた「工場制手工業」が、それ以前の「問屋制家内工業」と比較して、生産効率を向上させた主な要因として正しいものはどれですか。 (2024年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|
| 1. 職人が一人で全工程を担当し、熟練した技術を製品に反映させたこと。 | 2. 商人が農民に原料と道具を貸し出し、農閑期を利用して生産させたこと。 | 3. 外国から輸入された最新の大型機械を各家庭に配備したこと。 | 4. 労働者を一箇所に集め、各工程を専門に行う分業体制を整えたこと。 |
|-------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|

- 問10 江戸幕府は大名に対し、許可なく城を修理することや、幕府の許可を得ずに大名同士で婚姻を結ぶことを厳しく禁じました。幕府がこのような制限を設けた背景にある、最も適切な理由はどれですか。 (2019年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 朝廷と大名が直接結びつくことを推奨し、天皇を中心とした政治体制を作るため | 2. 大名の経済力を奪うために、豪華な城の建築や結婚式を奨励して浪費させるため | 3. キリスト教の布教を防ぐために、海外の文化が城や婚姻の儀式に混ざるのを避けるため | 4. 大名の軍事的な強化や、有力大名同士の無断の同盟を妨げ、反乱を未然に防ぐため |
|---|---|--|--|

- 問11 江戸時代中期に、幕府が貨幣の含有率を下げた大量の貨幣発行を行った結果、当時の社会や経済にどのような影響を及ぼしたと考えられますか。その因果関係として適切なものを選びなさい。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 市場に流通する貨幣の量が増えた一方で、貨幣1枚あたりの価値が下がり、物価が上昇した。 | 2. 貨幣の発行量が増えたことで、武士が受け取る米の価値が相対的に高まり、武士の財政が潤った。 | 3. 貨幣の信用が高まったことで、農村部での物価が下落し、自給自足の生活が再び強まった。 | 4. 金や銀の純度を下げたことで海外への支払いが容易になり、長崎での貿易額が飛躍的に増大した。 |
|---|---|--|---|

- 問12 江戸幕府は1613年のキリスト教禁止令から1641年の「鎖国」体制の完成に至る過程で、多くのヨーロッパ諸国との交流を断ちましたが、特定の国に対しては長崎の出島での通商を継続して許可しました。この国は幕府に対し、貿易の対価として海外情勢を報告する義務を負っていましたが、その国名を次の中から選びなさい。 (2026年 三重県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. オランダ | 2. ポルトガル | 3. スペイン | 4. イギリス |
|---------|----------|---------|---------|

- 問13 田沼意次が推進した重商主義的な政策のうち、長崎貿易において金や銀の流出を防ぎ、幕府の財政を潤すために取られた手段として正しいものはどれですか。 (2016年 滋賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|--|--------------------------------------|
| 1. 海外からの生糸の輸入を大幅に増やし、国内の絹織物産業を活性化させた。 | 2. 銅や「倭物」と呼ばれた海産物の輸出を奨励し、外貨を獲得しようとした。 | 3. 鎖国をさらに強化してオランダ船の来航を制限し、貿易額を最小限に抑えた。 | 4. 全国の農民に商品作物の栽培を禁止し、米の輸出のみを行うよう命じた。 |
|---------------------------------------|---------------------------------------|--|--------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 「平城京の整備」→「鎌倉幕府の成立」→「織田信長の政策」→「五街道の整備」	奈良時代の710年に唐の都を模して平城京が整備されました。その後、12世紀末に源頼朝によって鎌倉幕府が成立し、武士による政治が本格化します。16世紀後半の戦国時代には、織田信長が楽市・楽座や関所の撤廃を行い、安土城を中心とした流通改革を進めました。そして17世紀の江戸時代に入ると、幕府によって日本橋を起点とする五街道が整備され、全国的な交通網が完成しました。
問2	答え 1 新田開発	江戸幕府や各藩は、年貢収入を増やすために大規模な治水工事や干拓を行い、それまで未開墾だった原野や海浜を耕地に変える「新田開発」を推進しました。この政策により、100年余りの間に耕地面積が飛躍的に増加し、農業生産力が向上しました。地租改正は明治時代、太閤検地は安土桃山時代の出来事であり、時代背景が異なります。
問3	答え 3 商工業者が結成した「株仲間」を積極的に公認し、営業の独占権を与える代わりに運上金や冥加金といった税を徴収した。	田沼意次は、それまでの米の増産に頼る幕府の財政再建策に行き詰まりを感じ、発展していた貨幣経済に着目しました。商工業者が結成した「株仲間」を積極的に公認し、市場の独占を認める対価として、運上金や冥加金といった商工業の利益に基づいた税を徴収することで、幕府の新たな収入源を確保しようとしたのが特徴です。
問4	答え 2 世界初の株式会社の仕組みを取り入れ、多くの出資者から資金を集めて運営された。	1602年に設立されたオランダ東インド会社は、長期間にわたるアジア航海のリスクを分散し、巨額の資金を安定して調達するために、不特定多数の出資者から資本を募る「株式会社」の先駆けとなる仕組みを採用しました。これにより、国家の財政にのみ頼ることなく強力な資本力を持ってアジア貿易を独占的に進めることが可能になりました。
問5	答え 2 葛飾北斎	江戸時代後期の町人文化では、浮世絵の分野において従来の美人画や役者絵に加え、風景画という新しいジャンルが確立されました。葛飾北斎は「富嶽三十六景」に見られるような、波や山を幾何学的に捉える大胆な構図や、鮮やかな色彩を多用しました。この斬新なスタイルは、19世紀後半のヨーロッパでゴッホやモネといった印象派の画家に多大な影響を与えたことで知られています。
問6	答え 4 季節風	日本を含む東アジアや東南アジアでは、大陸と海洋の温度差によって夏と冬で風向きが逆転する現象が起こります。これを季節風（モンスーン）と呼び、動力を持たない朱印船は、夏に日本から南下し、冬に日本へ帰国するといった航海サイクルをこの風に合わせて組んでいました。貿易風は赤道付近で一定方向に吹く風、偏西風は中緯度地帯を西から東へ吹く風であるため、混同しないよう注意が必要です。
問7	答え 3 株仲間を公認し、その営業の独占を認める代わりに税を徴収する仕組み	田沼意次は、年貢収入だけに頼る幕府財政の限界を打破するため、商業の発展に注目しました。商人が作る同業者組織である「株仲間」を積極的に公認し、運上・冥加といった税を課すことで、商業資本を幕府の財政に取り込もうとしました。選択肢にある農村への帰還や借金の帳消しは、後の松平定信や水野忠邦による改革で行われたものです。
問8	答え 1 近松門左衛門	江戸時代中期の元禄文化を代表する脚本家です。竹本義太夫と協力して人形浄瑠璃の脚本を多く手がけたほか、歌舞伎の台本も執筆しました。当時の町人の暮らしや恋愛、心中などを題材にした作品は、当時の人々の強い共感を得ました。選択肢にある雪舟は室町時代の水墨画、世阿弥は室町時代の能、葛飾北斎は江戸時代後期の化政文化を代表する浮世絵師です。
問9	答え 4 労働者を一箇所に集め、各工程を専門に行う分業体制を整えたこと。	問屋制家内工業が個々の家々で作業を行うのに対し、工場制手工業は労働者を工場（作業場）に組織的に配置しました。これにより、一人ひとりが特定の作業に専念する「分業」が可能となり、手作業でありながら大量かつ迅速な生産が実現しました。
問10	答え 4 大名の軍事的な強化や、有力大名同士の無断の同盟を妨げ、反乱を未然に防ぐため	武家諸法度の根底には、幕府による強力な大名統制の意図があります。城の無断修理や新築の禁止は大名の軍事拠点強化を阻止するためであり、婚姻の許可制は大名同士が勝手に政略結婚をして幕府に対抗する派閥を作ること防ぐためでした。このように、私的な活動を法的に制限することで、長期にわたる安定した支配を実現しようとした。
問11	答え 1 市場に流通する貨幣の量が増えた一方で、貨幣1枚あたりの価値が下がり、物価が上昇した。	貨幣の質を落として流通量を急激に増やすと、貨幣そのものの価値が低下します。これにより、同じ商品を購入するのにより多くの貨幣が必要になるため、物価が上昇する現象が起きました。これは現代で言うインフレーションに近い状態で、庶民の生活を圧迫する要因となりました。
問12	答え 1 オランダ	江戸幕府はキリスト教の布教を警戒し、カトリック諸国であるスペインやポルトガルを排除しました。これに対し、プロテスタントの国であったオランダは、布教よりも貿易を優先する姿勢を示したため、1641年に平戸から長崎の出島へと商館を移したあとも、ヨーロッパで唯一の交易相手として認められました。
問13	答え 2 銅や「倭物」と呼ばれた海産物の輸出を奨励し、外貨を獲得しようとした。	田沼意次は、貿易を制限するのではなく、むしろ積極的に活用することで財政を立て直そうとしました。当時、輸入の対価として金銀が流出していたため、日本産の銅や、倭物（煎海風、干鮑、鰹鱈などの海産物）の輸出を強化することで、金銀の流入を促しました。また、蝦夷地の開発を計画してロシアとの貿易を検討するなど、先進的な対外政策を構想していたことも特徴です。

- 問1 1600年の関ヶ原の戦いに勝利したのち、1603年に征夷大將軍に任じられて江戸幕府を開いた人物として正しいものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2022年 宮崎県公立入試 類似)
1. 織田信長 2. 徳川家光 3. 徳川家康 4. 徳川吉宗
- 問2 江戸時代に整備された海上交通路である「西まわり航路」について、出発地から目的地までの経路を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2017年 広島県公立入試 類似)
1. 日本海沿岸の酒田を出発し、日本海を南下して下関を通り、瀬戸内海を経て大阪へ至る経路。
2. 出羽国の酒田を出発し、敦賀で一度荷物を下ろして陸路を通り、琵琶湖の小型船に積み替えて大阪へ至る経路。
3. 九州の長崎を出発し、対馬海峡から日本海に入り、北陸地方の各港を経由して大阪へ至る経路。
4. 日本海沿岸の酒田を出発し、津軽海峡を越えて太平洋側を南下し、江戸を経由して大阪へ至る経路。
- 問3 日本の交通網の変遷において、1988年に本州と四国を陸路で結ぶ橋が開通したことによる社会への影響として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 茨城県公立入試 類似)
1. ヴァスコ・ダ・ガマが持ち込んだ海外の最新技術が初めて橋の建設に活用され、日本が世界最大の貿易国となるきっかけとなった。
2. 船舶による輸送に依存していた地域間の移動が、自動車や鉄道によって短時間で可能になり、生活圏や物流の範囲が大きく拡大した。
3. 江戸時代から続いていた東まわり・西まわり航路の重要性が増し、橋を通るトラック輸送よりも海上輸送が日本の物流の主役となった。
4. モンゴル帝国の駅伝制にならって、橋の各所に宿場や馬の提供所が設置されたことで、徒歩による旅行者が急増した。
- 問4 江戸時代後期、多くの諸藩が財政難に苦しむ中で行った「藩政改革」において、財政を立て直すために広く採用された経済政策として、最も適切な説明を選んでください。 (2017年 群馬県公立入試 類似)
1. 参勤交代の負担を減らすために、大名が江戸に滞在する期間を半年から1か月に短縮した。
2. 農村の人口減少を防ぐため、他国への出稼ぎを全面的に禁止し、すべての農民を自給自足の生活に戻した。
3. 幕府による株仲間の解散令に従い、商人の独占を廃止して自由な商取引を奨励した。
4. 藩が領内の特産物を安く買い上げ、都市の商人を通じて有利な価格で売り出す専売制を強化した。
- 問5 日本の近代産業が発達する過程で見られた、工場制手工業（マニュファクチュア）の特徴を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
1. 資本家が工場を建て、そこに多くの人を集めて、手作業の分業によって製品を生産する形態。
2. 大規模な工場において、蒸気機関などの動力を使い、機械によって製品を大量生産する形態。
3. 商人が農家に原料や道具を貸し出し、農家が自宅で製品を加工して商人に納める形態。
4. 農村において、各家庭が自分たちで使う分だけの衣服や道具を自給自足で生産する形態。
- 問6 北前船は、単に荷物を運んで運賃を得るのではなく、船主自らが各寄港地で商品を買取り、それを別の港で売却して利益を上げる独自の経営スタイルをとっていました。この商船の形式を何と呼びますか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)
1. 蔵元 2. 買い積み 3. 問屋制 4. 株仲間
- 問7 江戸時代の農業において、収穫作業を効率化させ、生産量の増大に寄与した技術的背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 鳥取県公立入試 類似)
1. 「千歯扱き」と呼ばれる農具が登場したことで、それまでの扱竹（こきだけ）に比べて脱穀作業の効率が飛躍的に高まった。
2. 「惣村」と呼ばれる自治組織が、高床倉庫を共同管理することで、収穫した米の長期保存と安定供給を実現した。
3. 「口分田」の制度を廃止して農地の私有化を認めたため、農民が自発的に灌漑用水路を整備するようになった。
4. 「石包丁」が改良されて全国に普及したことで、一度に大量の稲を収穫することが可能になった。
- 問8 江戸幕府が行った「天保の改革」において、水野忠邦が物価の上昇を抑えるために実施した政策として最も適切なものはどれですか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 株仲間の解散 2. 新田開発の奨励 3. 長崎貿易の制限 4. 上米（あげまい）の制の導入
- 問9 江戸時代の庶民の教育について、当時の子供たちが机を並べて筆で文字を書いたり、本を読んだりしている様子を説明した一節として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 奈良県公立入試 類似)
1. 藩校において、武士の子弟として必要な論語などの儒学や武芸を厳しく叩き込まれていた。
2. 昌平坂学問所において、幕府の役人になるための専門的な行政能力を磨いていた。
3. 寺子屋と呼ばれる施設において、日常生活や商売に必要な読み書き算盤の基礎を身につけていた。
4. 私塾において、長崎から伝わった最新の医学や天文学などの蘭学を研究していた。
- 問10 16世紀後半から19世紀前半にかけて確立された日本の社会構造において、農村で商品作物の栽培や手工業が発達した主な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
1. 貨幣の使用を禁じる法令が出されたことで、農民たちが物々交換を行うための加工品を大量に作り始めたため。
2. 幕府が全国の農地を没収し、すべての農民を都市の工場に強制的に移住させて工業生産に従事させたため。
3. 海外との自由貿易が推奨された結果、外国産の安価な農産物に対抗するために高付加価値な工業製品のみを作るようになったため。
4. 農民が年貢を納めたあとの余剰分や、市場での販売を目的とした作物の生産によって、現金収入を得る必要性が高まったため。
- 問11 19世紀前半の江戸時代に出された「異国船打払令」の内容とその背景について、最も適切な説明を選びなさい。 (2017年 群馬県公立入試 類似)
1. イギリスやロシアなどの船が日本近海に現れるようになったため、沿岸に近づく外国船を無条件で攻撃して追い払うよう命じた。
2. 欧米諸国との間で正式な国交を樹立するため、特定の港に限定して自由な貿易を認める方針を示した。
3. 清（中国）との貿易を促進するため、長崎に加えて新たに兵庫の港を開港することを決めた。
4. キリスト教の布教を防ぐことを目的として、スペインやポルトガルの船が日本に来航することを一切禁止した。
- 問12 江戸時代の経済政策において、田沼意次が株仲間を積極的に活用した背景とその影響に関する記述として、正しいものはどれですか。 (2017年 大阪府公立入試 類似)
1. 中世から続く「座」の特権を排除するために結成されたが、幕府の統制を受けない自由貿易を目指したため、すぐに解散させられた。
2. 自給自足の経済を復活させるために商人の力を抑えようとしたが、結果として農村での一揆が激増する原因となった。
3. 貨幣経済の浸透に伴い、年貢以外の収入を増やす必要があったが、独占によって物価が上昇する一因にもなった。
4. 鎖国による貿易不振を補うために結成されたが、オランダ商館との直接取引を試みたことで幕府の反感を買い、弾圧された。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 徳川家康	1600年の関ヶ原の戦いに勝利した徳川家康は、1603年に征夷大將軍に任命され、江戸幕府を開きました。徳川家光は参勤交代を整えた第3代將軍、徳川吉宗は享保の改革を行った第8代將軍です。
問2	答え 1 日本海沿岸の酒田を出発し、日本海を南下して下関を通り、瀬戸内海を経て大阪へ至る経路。	西まわり航路は、東北地方（山形県）の酒田を起点とし、日本海沿岸を西へ進んで本州西端の下関を回り、瀬戸内海を通して経済の中心地である大阪へと結ぶルートです。この航路の確立により、東北や北陸の年貢米などが大量に「天下の台所」と呼ばれた大阪へ運び込まれるようになりました。
問3	答え 2 船舶による輸送に依存していた地域間の移動が、自動車や鉄道によって短時間で可能になり、生活圈や物流の範囲が大きく拡大した。	1988年の瀬戸大橋の開通を含む本州四国連絡橋の整備は、それまで「離島」に近い交通環境にあった四国と本州を陸路で直結させました。これにより、通勤・通学圏の拡大、農産物の迅速な輸送、観光客の増加など、地域経済や住民の生活様式に劇的な変化をもたらしました。
問4	答え 4 藩が領内の特産物を安く買い上げ、都市の商人を通じて有利な価格で売り出す専売制を強化した。	江戸時代後期の諸藩は、貨幣経済の浸透により深刻な財政難に陥っていました。これを打開するため、各藩は領内の特産物（薩摩藩の黒砂糖や長州藩の紙・ろうなど）を藩が独占的に買い上げ、大坂や江戸の市場で販売して利益を上げる「専売制」を導入しました。これにより、商人に頼らずに藩自らが利益を確保し、財政の再建を図りました。一方で、幕府が江戸で行った株仲間の解散（天保の改革）などは、藩政改革とは異なる動きです。
問5	答え 1 資本家が工場を建て、そこに多くの人を集めて、手作業の分業によって製品を生産する形態。	工場制手工業は、それまでの「家」単位の生産から「工場」という組織的な生産へと変化した重要な段階を指します。「人を集めて」一箇所で作業させること、そして一人が全工程を行うのではなく「分業」を行うことが、生産性を向上させる鍵となりました。動力に機械を導入する前の段階であるため、あくまで「手作業（手工業）」である点がポイントです。
問6	答え 2 買い積み	北前船の最大の特徴は「買い積み」という商法にあります。寄港地ごとに価格差を利用して売買を繰り返しながら航行したため、莫大な利益を生むことが可能でした。この仕組みにより、日本海沿岸の寄港地には多くの富がもたらされ、独自の文化が発展しました。
問7	答え 1 「千歯扱き」と呼ばれる農具が登場したことで、それまでの扱竹（こきだけ）に比べて脱穀作業の効率が飛躍的に高まった。	江戸時代には元禄文化の頃を中心に農業技術が大きく発展し、千歯扱きの普及によって脱穀の効率が劇的に改善されました。石包丁や高床倉庫は弥生時代、口分田は律令制（古代）、惣村による水路管理などは主に中世の特徴であり、時代背景が異なります。
問8	答え 1 株仲間の解散	水野忠邦は、物価高騰の原因が株仲間による流通の独占にあると考え、これらを解散させて自由な流通を促そうとしました。しかし、かえって流通が混乱し、経済の低迷を招いたため、改革は短期間で失敗に終わりました。徳川吉宗が行った上米の制や新田開発などの享保の改革の政策とは性質が異なります。
問9	答え 3 寺子屋と呼ばれる施設において、日常生活や商売に必要な読み書き算盤の基礎を身につけていた。	庶民の教育熱は非常に高く、都市部だけでなく農村部にも寺子屋が普及しました。そこでは「読み書き算盤」という実利的な教育が行われ、これが明治時代以降の近代化を支える国民的な教育基盤となりました。武士が通う藩校や、専門的な学問を学ぶ私塾とは、教育の対象や目的が異なります。
問10	答え 4 農民が年貢を納めたあとの余剰分や、市場での販売を目的とした作物の生産によって、現金収入を得る必要性が高まったため。	江戸時代中期以降、農業技術の向上によって生産力が高まると、農民は年貢として納める米以外の土地で、綿、菜種、藍、紅花などの「商品作物」を栽培するようになりました。これらを都市の商人に売ることで貨幣を得る「貨幣経済」が農村まで広がり、その資金や原料をもとに、農村部で布を織るなどの手工業が発展することとなりました。
問11	答え 1 イギリスやロシアなどの船が日本近海に現れるようになったため、沿岸に近づく外国船を無条件で攻撃して追い払うよう命じた。	江戸時代後期になると、産業革命を経て海外に進出した欧米列強の船が日本近海に頻繁に姿を現すようになりました。これに対し幕府は1825年に異国船打払令（無二念打払令）を出し、日本の沿岸に接近する外国船を理由を問わず砲撃して追い払う強硬な姿勢をとりました。
問12	答え 3 貨幣経済の浸透に伴い、年貢以外の収入を増やす必要があったが、独占によって物価が上昇する一因にもなった。	田沼意次は商業資本を積極的に利用して幕府の財政を立て直そうとしました。しかし、株仲間による流通の独占が強まると、商品の価格が操作されやすくなり、都市部での物価高騰を招きました。これが後の松平定信による寛政の改革において、田沼政治が批判される要因の一つとなりました。